

口腔ケアについて



<目的>

手術後口腔内の創部は微生物を含んだ唾液や口腔内貯留液にさらされることとなります。術後は嚥下障害を生じることも多く口腔内の自浄作用が低下し口腔内微生物は増えやすくなります。口腔内の様々トラブルや肺炎を予防するためにも口腔ケアは不可欠となります。

<手順>

① うがい



※はじめにうがいをすることで口腔内全体が湿潤し汚れが取れやすくなります。

- ・うがい液を使用するのがおすすめです。
- ・うがいが難しい方はスポンジブラシにうがい液や水を浸して口腔内全体に塗布して口腔内を湿らせてください。

※始めにリップクリームを唇に塗るとケアの際に口角が切れるのを予防できます。

② ブラッシング

- ・創部はブラッシングしないように気を付けてください。
- ・残存歯がある方は、歯の表面、間、裏を丁寧にブラッシングしてください。

特に歯の間には分泌物が溜まりやすいです。

・うがいが十分にできない方、術直後の方はなるべく歯磨き粉は使用せず、うがい液等を歯ブラシにつけるか何もつけないままブラッシングしてください。

※市販の歯磨き粉（研磨剤や発泡剤が入っているもの）は刺激が強すぎたり口腔内に残ると乾燥したりする原因となります。

③ スポンジブラシ

- ・創部や口腔粘膜、舌はスポンジブラシで優しく拭うようにケアして下さい。
- ・ケアの際にはスポンジブラシにうがい液等を浸して使用するとよいです。

※舌の表面や口腔粘膜は目に見えた汚れがなくても分泌物が付着しやすく細菌が繁殖する原因となるため毎回のケアで清潔を保つようにしましょう。

④ うがい

- ・うがい液を使用しましょう。
- ・ケアの最後にうがいを行い口腔内を保湿することで乾燥を防ぐことができます。
- ・うがいの難しい方はスポンジブラシにうがい液を浸し全体に薄く塗布します。

⑤ 入れ歯のお手入れ

・入れ歯は専用のブラシを用いて毎食後ブラッシングできると良いです。磨く際には力を入れすぎずに流水で洗い流しながら優しく磨いて下さい（市販の歯磨き粉は研磨剤等が入っており使用するとかえって傷をつけて入れ歯に細菌が繁殖する要因となります。）。

・就寝時には外し水につけ乾燥するのを防ぐようにしましょう。入れ歯洗浄剤の使用もおすすめです。

入院前からの口腔ケアが大切です！

手術後、乾燥は口腔内のトラブルに繋がりやすいので、うがいをこまめに行うなどして保湿を心掛けましょう！

分からないことや不安なことはスタッフにいつでも聞いて下さい。



R6.9 作成